

指定管理施設の管理状況に係る外部有識者からの意見聴取結果

報告日：平成 24 年 8 月 27 日

施設名 鳥取県立倉吉未来中心
指定管理者 (財)鳥取県文化振興財団

1 実施の方法

指定管理施設における施設管理状況の点検について（平成 19 年 9 月 19 日付第 200700099675 号行政経営推進課長通知）に定める「指定管理業務点検要領」に基づき、施設の指定管理者を選定した際に選考委員をお務めいただいた有識者の方々から、現在の管理状況に係る評価と意見を伺った。

具体的方法としては、指定管理者から提出のあった事業計画書及び毎年度の実績報告書に加え、県が毎年度作成する「点検・評価シート」を御覧頂いた上で、施設に参集いただき、指定管理者及び県担当者から聞き取りを行う形で実施した。

2 外部有識者名簿

遠藤税理士事務所 税理士 大久保 計良 氏
鳥取大学地域学部 准教授 北川 扶生子 氏
鳥取県民謡連合会 会長 佐藤 松弘美 氏
鳥取県地域づくりセンター 所長 福田 京子 氏

3 意見聴取の結果

4 つの項目（各項目の点検内容は別紙のとおり）に沿って、以下の指標により 5 段階評価をいただくとともに意見を伺った。

5：非常に優れている 4：優れている 3：標準的 2：一部改善を要する 1：大いに改善を要する

(1) 管理運営の状況について

< 5 段階評価の平均点 >	4 点
< 評価の理由・意見等 >	
○アンケートや利用者懇談会を通じて利用者の声を把握し、適切に対応しているほか、宅配便の預かり等きめ細かなサービスを実施している。利用者アンケートでも高い満足率が得られている。	
○利用者へのサービス提供・向上策などで様々な工夫が見られる。施設の設置目的でもある人が集い、交流することで地域の活性化を実現すべく施設を利用した芸術文化事業の促進がなされている。	
○専門的知識を持つ職員の配置により、利用者への助言、フォロー等が適切になされている。	
○正職員、非常勤職員ともに来館者及び利用者への丁寧な接遇がなされている。	

(2) 維持管理の状況について

< 5 段階評価の平均点 >	4 点
< 評価の理由・意見等 >	
○設計上の問題により、開館当初より雨もり等の問題を抱えていたが適切な維持修繕により改善がなされている。	
○事故や緊急時の対応についても訓練、研修を行うなど適切な準備体制がとられている。	
○長期整備計画に基づく計画的な保守管理・修繕を行い、外部への委託料を県民文化会館との合同入札及び複数年契約にするなどして節減の工夫を行っている。また、清掃業者との連絡も密に行い、適切な維持管理を行っている。	

(3) 事業等の実施状況について

<5段階評価の平均点>	4. 25点
<評価の理由・意見等> ○地元アマチュアバンドによるライブやボランティアと協働のコンサート等を継続的に実施しているほか、昨年度は舞台「八賢伝」を制作し、満足率96パーセントという高い成果を挙げた。 ○「八賢伝」や中部少年少女合唱団、ボランティア制度を通じた地域との連携や舞台技術支援など、利用者の幅を広げる事業が実施され、非常に評価できる。 ○クリスマスイルミネーションなどアトリウムを利用した季節ごとの企画により人が集うための工夫がなされており、また昨年の舞台「八賢伝」の上演の際は、赤瓦と連携し、チケットの半券を活用した商品の割引を試みるなど地域と連携した取組も評価できる。	

(4) 利用状況、収支の状況について

<5段階評価の平均点>	4点
<評価の理由・意見等> ○県中部という立地条件による全県対象の会議、事業も多く、セミナールームの利用度は高い。一時落ち込んでいた利用料収入も23年度は増加している。 ○倉吉市の「交流プラザ」、「二十世紀梨記念館」、「男女共同参画センター」との複合による相乗効果が見られる。 ○利用促進に向けた営業活動の取組が評価される。 ○景気の悪化も要因の一つと思われるが、ホール運営が課題になるとと思われる。今の社会状況を考えて努力がなされていると思われる。 ○当初計画は達成されているが、大ホール利用率の向上、新規顧客開拓、リピーター確保等が、今後の課題である。	

(5) その他意見

○複合施設の利点が活かされていると思われる。相互協力により一層の活性化を図りたい。 ○「ARTS FOR EVERYONE」事業における、さらなるジャンルの拡大が期待される。また、他施設と異なり、図書館・飲食店等が集中している利便性を、今後の事業展開においてさらに活用できる可能性があるのではないかと感じた。 ○厳しい経済情勢の中、立地条件の有利不利もあるが、県外からのイベント誘致など、エリアを広げた活動を通じて、更なる地域活性化・交流への貢献を期待する。 ○アートマネジメント関連の資料や蔵書については、新しく活動を始められる方達の参考となるよう、蔵書リストをホームページ等で公開し、広く閲覧に供してはどうか。 ○アウトリーチ活動（外へ出向いての公演やワークショップ等の実施）の大学や病院、福祉施設での展開について検討されたい。また、将来的にはどのような団体があって、希望があれば来てもらえるのかといった情報をWEBで集約できるとよい。 ○学校が施設利用する際の全額減免制度については、施設への負担ともなるであろうし、受益者負担の観点からある程度の負担を求めるべきではないか。

(別紙)

意見聴取にかかる点検内容

1 管理運営の状況について

- ・開館時間、休館日、利用料金等の設定
- ・利用者へのサービス提供・向上策
- ・施設の利用促進策
- ・法令等の遵守
- ・利用者意見の把握、対応

2 維持管理の状況について

- ・施設・設備の保守管理・修繕
- ・施設の保安警備、清掃等
- ・事故の防止措置、緊急時の対応

3 事業等の実施状況について

- ・利用促進のための事業実施内容
- ・施設の設置目的達成のための事業実施内容

4 利用状況、収支の状況について

- ・施設の利用状況（利用率、利用人数）
- ・利用料金の徴収、減免の状況
- ・管理運営にかかる収支状況